

# 開校記念日 生徒ら祝う

## 卒業生の彫刻家が講演

高南蘇 開校64年目を迎えた蘇南高校（杉村修一校長、166人）で15日、開校記念日を祝う講演会が開かれた。南木曾町吾妻出身の彫刻家で、昭和46年度の卒業生の勝野眞言

さん（62）が講師を務めた。これまでには手掛けた彫刻作品やデッサン画を写真で紹介しながら、高校卒業後に夢を追い求め、彫刻家をなりたいとした自らの人生を紹介した。

勝野さんは小学生の

ころから絵を描くことが好きで、将来に思い込んでいた高校3年生の時に飛び込んだ東京の美術予備校で手応えを感じ、美術の道に進んだ。現在は、熊本市の崇城大学芸術学部美術学科で教授を務めており、地域資源を活用



講演会 勝野さん 講演する

し、表現をする住民参加型の現代美術プロジェクトに取り組んだことも紹介した。

生徒会長の李大希君（17）は「自分を信じ、やり抜く大切さが分かった」と話した。

勝野さんは講演会后、「何かを『好き』ということは才能。大事にしてほしい」と生徒たちにエールを送った。

（細野はるか）